

積極的となり、日本の東亞新秩序建設を益々困難ならしめる。かかるが故に五相會議は次のやうな結論に達した。即ち日本の外交方針は支那事變を速かに處理する事を指導方針とし、日本の態度は獨伊對英佛の戦争の起るまで忍耐強く待機する事、そして歐洲に戦争が起つた時は一撃の下にアジアから英米佛の勢力を驅逐する事が出来るだらうと言ふのである。日本の陸海外相は上述のやうな結論に達し、獨伊に對しても右を通告し、日本の微妙且つ困難なる立場を諒解してくれるやう要請した。

極秘

閣情報部第・二五 情報第二號

一重慶 U・P 新聞電報放送 (二十一日) (臺灣總督府交通局通信部聽取)

蔣介石は目下當地に開催中の國際平和運動協會支那支部の第二回年次總會宛左記ステートメントを發表した。

會員諸士今次の會合は干戈を交へつゝある戰亂と世界の諸所に行はれつつある戦争の準備時代を背景として世界平和克服の手段方法を討議せんとするものにて其意義誠に深重なるものあり而して茲に檢討せられんとする所は一面に於て諸士の崇高なる目的及要求が、世界を風靡する恐怖すべき政局の推移と兩立せず一種變態的意味を含むかの如き觀あり。れども若し世界の亂れたる風潮を矯正し之を善導せんとする確固たる意志あらば諸士の代表する會議の前途は洋々として毫も悲觀するに當らず諸士は過去に於けるが如く理想を現世の基礎の上に樹立すべきである。即ち聲譽失墜し疲弊せる時代遅れの平和主義を棄して大膽に且積極的に邁進し正氣を喪失した少數侵略主義者に對抗して健全なる思想を抱く世界多数の平和運動者と協力一致以て時局に對處すべきである。健全なる國家は罪惡的自由運動を默許するものにあらず無責任にして世界を平和に有害なる横道に導く

爲政者を排撃し彼等を處罰せざれば止まざるべし。
我等が續けつつある聖戦は我國民に最後の勝利に對する確固不拔の信念を與へ我等も亦國民と共に侵略者の暴虐なる行爲を阻止し世人に好箇の範を垂れんとすると共に全世界を戦亂の禍中に捲込まんとする彼等を完全廢絶せんとするものである。而し我等の運動は世界の平和愛好國の協力を俟つて完成さるべきなるも我等が抗戦を續けた獨自の國力を以て之を達成し得れば我等が單に自國のみならず世界の爲めに戦ひつつある立場より見て其成績は一屬類等であることを信ずる、云々。

秘

内閣情報部五・三五

情報第三號

成都中央通信社國際放送（二十一日）
（臺灣總督府交通局遞信部轉取）

一、重慶發

外交部長王寵惠は記者團を引見し近く開かるべき聯盟理事會に關し談話を試みたが次の如し聯盟理事會は目下の極東の危機が遠からずして世界の各方面に悪影響を及ぼすに至るべきを見逃さない事と思ふ。且つ支那が現下の抗戦に成功するか否かは東半球全體にある列強の地位に密接な關係がある事も見逃さぬであらう。

支那は世界の平和愛好國の負託に應へんこの大方針の下に現下の苦しい抗日戦を進めつつある。一九三八年十月三十日決議として採擇され一九三九年一月十日再び決議として確認された聯盟規約第十六條所定の制裁規約發動に基き各聯盟國は協同して有效適切なる手段に出づべき義務あり且此れは國際正義擁護の爲必要な事だ。支那は各國が支那に同情を寄せ必要の際に援助を與へる事ならば何んでも歓迎する。併し只一國で二十二ヶ月の間戦つてゐる支那を助ける爲には全世界が立つて日本の侵略行爲を阻止する事が今日では最も有效な手段でその國際的制裁手段は日本との間の財政的商業的關係を一致して中止する事だ。又聯盟理事會は昨年九月三十日の決議を覚えて居る事だらう。それは一般人への不法空爆で

150